

特定非営利活動法人 学生支援ハウスようこそ 2024年度 事業計画

1. 学生支援と関係機関との連携

1) 学生支援

現在入居している学生は、全員、2023年度末をもって在籍校の卒業を迎える予定である。無事に卒業し、笑顔溢れる卒業式となるよう、日々の個別支援に努めていく。3月に国家試験を控えている学生もおり、健康管理にも十分に留意する。また、引き続き親子関係の再構築支援が必要な学生には、弁護士の協力を得て対応する。

さらに、卒業後の地域での自活生活の準備について、安定した住居の確保をはじめ、ひとり暮らしに必要な知識の提供などを行っていく。

2) 関係機関等との連携

ハウス開設以来、①学生が暮らしていた施設や里親、②学生に関わっていた児童相談所、③学生が通う学校、④入居問い合わせをしてきた機関や民間団体等の支援者、⑤地元の社会福祉関係機関や団体、⑥寄附金等の助成団体など多くの繋がりを構築してきた。それぞれの関係機関に、ハウスの閉鎖について丁寧にご説明するとともに、学生支援の意義をお伝えしていく。

2. アフターケア

これまで実施してきたハウスを退所した学生への個別支援にも引き続き取り組み、困難に直面した際にSOSを出せる関係性を保持していく。誕生日にお祝いの連絡をとったり、災害発生時に安否確認を通したつながりをつくったりするなど、創意工夫に努める。必要に応じて、面談や同行支援を実施する。

3. 学生及びスタッフの個人情報の管理

ハウス運営の終結するにあたり、学生に関する個人情報関係の書類について、アフターケアのために補完すべきものと破棄すべきものを峻別し、責任をもって管理・破棄にあたる。また、スタッフに関わる個人情報関係書式についても同様であり、いずれも守秘義務を順守し、実行していく。

4. 法人業務

1) 法人の解散に向けて

理事会および事務局会議の開催を通じて、会計業務、支援者様対応、施設設備管理などハウス運営を側面から支援すると共に、ハウスの閉鎖および法人の2024年内の解散に向けて必要業務を遺漏なく確実に遂行していく。また解散に向けた総会等を含む諸手続きの詳細やスケジュール化については、外部サポートや第三者のアドバイスを受けながら進めていく。

2) 会計業務について

会員会費や寄付金を最後まで大切に使用して頂くために、確実性と透明性のある会計業務を行う。

5. 社会への発信について

1) 当法人の活動について報告を行い、社会への発信を行う。